allcinema

カミーユ・クローデル(1988)

CAMILLE CLAUDEL

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマンス 伝記

製作国 フランス

色彩 Color

時間 150分

初公開日 1989/10/07

公開情報 デラ=ヘラルド・エース=シネマテン=フジテレビ提供/ヘラルド・エース=ヘラルド

【解説】

1885年、パリ。才能を認められ、彫刻家ロダン(ドパルデュー)の弟子となったカミーユ・クローデル(アジャーニ)は、やがて妻のいる彼と愛し合うようになる。妊娠し、結婚を迫るが、ロダンは妻と別れられず、失意のカミーユは彼の元を去る。流産し、それを振り払うように創作に没頭、次第に評価を得るも貧困は続く。愛を無くした心の隙間には猜疑心と憎悪が住み着き、徐々に精神のバランスを失っていく。あれほど愛したロダンすら憎しみの対象となり、そして……。情熱の才媛、クローデルをアジャーニが熱演(ベルリン国際映画祭主演女優賞)だが、この(不必要な)長尺の間、徹頭徹尾ストーリーは陰鬱。舞台であるパリの空は、ロンドンのそれの如く重く雲が立ち込めている。ブルーというよりダークな気分になるには最適の映画。演出的にも特に見るべきところはない。語るべきはアジャーニの演技のみ。JSBにて[TV完全版]が放映された。

【クレジット】

監督 ブルーノ・ニュイッテン Bruno Nuytten

原作 レーヌ・マリー・パリス

脚本 ブルーノ・ニュイッテン Bruno Nuytten

マリリン・ゴールディン Marilyn Goldin

撮影 ピエール・ロム Pierre Lhomme

音楽 ガブリエル・ヤーレ Gabriel Yared

出演 イザベル・アジャーニ Isabelle Adjani

ジェラール・ドパルデュー Gerard Depardieu

マドレーヌ・ロバンソン Madeleine Robinson

ロラン・グレヴィル Laurent Grevill

アラン・キュニー Alain Cuny

カトリン・ブアマン Katrine Boorman